

同定困難文字の提出

資料 2

デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ データ標準化・品質向上支援担当 宛

文字同定手順書の同定できない文字に関する対応パターン 5 に該当するため、以下のとおり同定できなかった文字として提出します。

(本提出は、当該文字の行政事務標準文字への追加をお約束するものではありません。)

提出自治体		提出年月日	
課室		担当者名	
連絡先(電話)		連絡先(メール)	
対応する住民記録システム等の文字について			
対応する住民記録システム等の文字 (画像イメージ)			
システム名及びベンダ名 ※ 1			
住登外か	☐ 住登外である ☐ 住登外ではない		
同定できない文字が使用されている文字列 ※ 2			
文字列ふりがな			
どこで使用されているか	☒ 氏 ☐ 名 ☐ 氏名以外		
同定できない文字が使用されている欄が氏名以外である場合の使用欄の名称 ※ 3			
現在使用されている文字か	☐ 使用されている ☐ 使用されていない		
当該文字の活用状況 (住民記録システムDBにのみ登録がある、住民記録システム以外の業務システムDBにも登録がある、統合宛名など共通DBに登録がある等)			
同定支援ツールでの同定先候補文字の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 使用していない		
同定困難と判断した理由 (同定支援ツールで同定先候補が示されず、適当な文字を見つけることができなかった等)			

戸籍照会について			
戸籍に関する確認有無		○ 住民かつ本籍地だが住基しか確認していない ○ 住民かつ本籍地で戸籍も確認済み ○ 住民だが本籍地は別で戸籍照会はしていない ○ 住民だが本籍地は別で戸籍照会している	
戸籍照会先自治体（本籍地）			戸籍照会日
戸籍照会の結果		○ 戸籍の文字と一致することが確認できた ○ 戸籍の文字を取り寄せることができた ○ 戸籍の文字を取り寄せることはできなかったが、当該文字の戸籍統一文字の情報が確認できた	
戸籍の文字（画像イメージ）			
戸籍統一文字番号			
その他			
※ 1 文字が使用されていることを確認したシステムの情報及びベンダー名を記入すること。統合基盤等を使用している場合はその旨記入すること。 ※ 2 名前で使用されている文字であれば、氏のみ、あるいは名のみとするなど、個人情報とならない範囲で記入すること。例えば「太郎」の「郎」が外字である場合には、「太*」と記入すること。 ※ 3 氏名等とは、氏名／旧氏／通称、世帯主の氏名、本籍、筆頭者及び住所／方書（左記の情報を基に記録される他の項目も含む）を指す。また、氏名等の欄で使用されている場合は記入不要。			